

第70回 日本不整脈心電学会学術大会 心電図アカデミー2

日常臨床に携わるメディカルプロフェSSIONAL(臨床検査技師・看護師)、研修医の方を対象とした教育講座です。

全体テーマ

心電図を通して様々な疾患を知ろう

座長 庭野 慎一 先生 北里大学医学部 循環器内科学

演題 1

見逃すと不味い心電図

演者 奥村 恭男 先生 日本大学医学部内科学系 循環器内科学分野

演題 2

多様な心電図モニタリングで不整脈を検出する

演者 高月 誠司 先生 慶應義塾大学病院 循環器内科

日時 2024年 7月 20日(土)
14:00 ~ 16:00

申込について

◎ 受講を希望される方は、第70回日本不整脈心電学会学術大会の参加費が必要です。お申込み方法は学会Webサイトにてご確認ください。

定員に達し次第、締め切らせていただきます。ただし、定員到達後に辞退があり、空席が生じた場合は即時、受付システムに反映いたします。

◎ キャンセル待ちはございません。当日ご来場いただいてもお席をご用意できませんので、受講希望の方は必ずお申込みください。

◎ 原則返金はできません。

会場 ホテル金沢
第9会場(2階 ダイヤモンドA)
石川県金沢市堀川新町1-1

定員 450名(事前登録制、先着順)

付記 ◎本セミナーは、JHRS認定心電図専門士制度認定更新の要件(10単位)に該当します。

◎遅刻および早退の場合は、単位は取得は認められません。

◎会場前の受講受付で入場・退場時に【来場二次元コード】を読み取り単位登録いたします。

◎テキストは開催当日、【来場二次元コード】読み取り後にお渡しいたします。

<お申込み・詳細はこちらから>



第70回日本不整脈心電学会学術大会
Webサイト

<https://jh2024.ace-enterprise.biz/contents/academy.html>

座長の言葉

心電図は、もっとも古い臨床検査のひとつですが、世界中にあまねく普及していることもまた事実で、日常で目にする機会のもっとも多い検査と言えるでしょう。それだけに、適切な知識のある判読者が容易に見いだせるような重要所見を見逃すことは避けなければなりませんし、心電図を目にする機会の多いプロフェッショナルは普段にその知識や判読技術をアップデートしておく必要があります。

一方、近年の特に画像診断を中心とするテクノロジーの進歩は、いながらにして心血管系の3次元画像を華やかに見せてくれるようになってきているので、ともすれば判読者は心電図を陳腐な検査だと感じてしまうかもしれません。しかし、心電図のモダリティは、定められた場面における12誘導心電図の判読にとどまらず、経時的な変化、他施設のデータとの比較、長時間にわたるモニタリングなど、心電図にしか出来ない多くの記録方法、診断方法があり、それは臨床的な病態を動的に診断する唯一の方法である場合も少なくありません。

この講演会では、お二人の著明なプロフェッショナルをお招きし、心電図判読におけるコツやポイント、あるいは近年注目を浴びているウェアラブルモニタの意味や臨床への応用についてお話いただきます。聴講される皆様には、必ず明日のからの臨床に役立つ生きた情報を得ることができるでしょう。

座長

庭野 慎一 先生 (北里大学医学部 循環器内科学)

演題 1 見逃すと不味い心電図

演者 奥村 恭男 先生 日本大学医学部内科学系 循環器内科学分野

演題要旨

心電図には時間、ベクトル、大きさという3つの重要な情報が含まれています。心電図の読み方は、P波、QRS波、ST-T波、U波の順に進めることが基本ですが、これらの情報を意識しながら読むことで見逃しを防ぐことができます。さらに、解剖学的な知識や臨床情報を加えることで、心臓内で起きている現象を完璧に説明することができます。

不整脈から虚血性心疾患を含む様々な疾患ならびに電解質異常のスクリーニングなどで、心電図をどのようにシンプルかつ適切に読んでいくか？20年以上にわたる日常診療の経験から得た知識を基に、心電図の解釈のポイントを紹介し、心電図をよりシンプルかつ適切に読むための極意を伝授します。

演題 2 多様な心電図モニタリングで不整脈を検出する

演者 高月 誠司 先生 慶應義塾大学病院 循環器内科

演題要旨

不整脈は発作的、一時的に出現することがあり、その場合症状も一過性である。失神、めまい、ふらつき、動悸、息切れといった症状は頻脈性及び徐脈性不整脈によって起る可能性がある。また原因不明の脳塞栓患者においては、心房細動による心原性脳梗塞を否定すべきである。これらの診断には発作時の心電図記録が欠かせない。心電図モニタリングとしては従来ホルター心電図が用いられてきたが、近年様々なモダリティが導入されている。植込み型ループレコーダは数年間にわたり連続的なモニタリングが可能で、不整脈の検出力は高い。

体外式ループレコーダは2週間から4週間といった長期のモニタリングが可能である。携帯型心電計は1回に30秒の心電図を手動的に記録するが、有症状の不整脈の検出に優れている。パッチ型長時間心電計はホルターと異なり、リード線がなく、患者負担は少なく、1~2週間の長時間の心電図記録が可能である。さらに医療用ではないが、スマートフォンやスマートウォッチによる心電図記録も可能であり、不整脈診断の一助となっている。ここでは最近の様々な心電図モダリティについて解説する。

お問合せ先

■参加登録および JHRS 認定心電図専門士資格について

第 70 回日本不整脈心電学会学術大会 運営事務局
(株式会社 ACE エンタープライズ内)
E-mail : jhrs2024-regi@ace-enterprise.net

■セミナー内容に関して

日本光電工業株式会社・心電図アカデミー 2 係
E-mail : nk-seminar02@db.nkc.co.jp

※心電図アカデミー 1 につきましては、以下にお問合せください。
フクダ電子株式会社・心電図アカデミー 1 係
E-mail : fsemi@fukuda.co.jp / TEL : 0120-155-737